

## 会議録

会議の名称	男女平等参画推進委員会 平成23年度 第12回
開催日時	平成23年11月9日（水曜日） 午後6時30分から8時30分まで
開催場所	田無庁舎1階 102会議室
出席者	出席：藤原委員、渡辺委員、大野委員、高橋委員、石田委員、今井委員、小野委員、富永委員 （欠席：名古屋委員、白松委員、蓮見委員） 事務局：浜名課長、藤巻係長、貫井主任
議題	1 男女平等参画推進委員会会議録の承認について 2 参画推進委員会と企画運営委員会の意見交換会について感想 パリテの活性化に向けて 3 男女平等推進センター パリテの事業報告について 4 「平成22年度男女平等参画推進計画実績評価」まとめに向けて 5 その他 ・ 条例制定勉強会について
会議資料の名称	1 平成22年度男女平等参画推進計画各課実績評価 2 男女平等推進センター パリテ事業報告各種講演会、講座資料 3 男女平等参画推進委員会スケジュール（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>（開会）</p> <p>○委員長： 定刻になったので第12回男女平等参画推進委員会を開催する。</p> <p>○課長： はじめにお詫び（3点）と報告（4点）がある。1. 2回分滞っている会議録については12月にご承認いただく。2. 9月分（2回分）報酬の支払いが遅れている。3. 実績評価を紙ベースで送付できなかった。この3つをお詫びといたしたい。報告として、1. 私は次回の委員会は別の会議と重なったため、欠席とさせていただきます。2. 先日行った企画運営委員会との懇談会についての会議録については、本日の議題の感想を述べていただくことでそれに当てていただきたい。3. 1月に条例制定勉強会（企画運営委員会と合同）を開催予定、講師は内藤和美先生（群馬パース大学看護学科教授）とのご希望を含めて1月15日（日曜日）か21日（土曜日）の午後のいずれかで調整願いたい。場所は住吉会館2階研修室。4. 3月の委員会につきましては予算の残金を見ながら4月開催になるか、調整させていただきたい。</p>	

- 委員長：  
予定や決定事項は守っていただきたい。
- 委員長：  
スケジュール（案）について承認をとる。12月は「領域別評価」「はじめに・これからの課題」の検討、1月は「条例制定勉強会」、2月は「各課実績評価」を最終確認し市長へ報告する。3月は2年間のまとめとして第3次計画策定に向けて次期新委員会への申し送り事項の話し合いで、今年度は終了とする。いかがか。
- 委員：  
平成24年度の委員会は夏ぐらいから始まるのか。
- 事務局：  
次期は第3次計画の準備に入る。4月から委員会を開催するようになると思う。任期内にこの委員会で「市民意識調査」の項目を検討・作成していただくことになる。
- 委員長：  
「条例制定勉強会」の日程を決めたい。
- 事務局：  
委員皆さんの希望日で、講師に確認を取る。1月15日（日曜日）午後1時から住吉会館2階研修室で開催することとする。
- 委員：  
「条例制定勉強会」を行い、今後どういやすのか。
- 委員長：  
次期委員会への申し送り事項として、条例の必要性を明確にしておく必要がある。
- 委員長：  
他になければ、スケジュールを承認とする。
- 1 男女平等参画推進委員会会議録の承認について
- 課長：  
会議録が2回分滞っている12月に承認をいただく。
- 2 参画推進委員会と企画運営委員会の意見交換会について感想 パリテの活性化に向けて
- 委員長：  
感想を述べていただく。
- 委員：  
大変良い機会だった。組織が違うので、男女平等参画に対する考え方が若干違うよ

うに感じた。大変という思いで発言した言葉が誤解され申し訳なかった。

○委員：

パリテの場所に問題がある。講演会の場所などをコール田無等にするなど住吉会館にこだわる必要はないのではないか。

○委員：

男女平等参画推進計画の内容を企画し運営するのが企画委員会と考え、交流会に望んだ。実際は、パリテの新聞（情報誌）を出すのに精一杯のように感じた。住吉会館の外を全然出ていないのではないかと。予算的な面もあるが世界、日本、という大きな活動ではなく狭いところで行っている感じがした。

○副委員長：

「女性センター」で活動する企画運営委員会は条例にならないかと思う。メンバーが限られた中で精一杯、手一杯で活動していると感じた。パパクラブのように委員にも男性も入って欲しいと思う。視点が違ってできるのではないかと。

○委員長：

企画運営委員会には、世界と国と繋がっている視点で見て欲しいという話をさせていただいた。また、答申をするにあたり、センターの「現状と課題」「課題解決」など予めレジュメを用意していたが、活発に意見交換が行われた。その中で、感じたのは「パリテの活性化」に向けて、確かに場所の問題もあるが、パリテで何が行われているのかをいかに市民に理解してもらえるかが、大きな課題・目的ではないか。そして互いにその方法論をもっと豊かに話し合い、それを実行していく場所が「パリテ」ではないかと感じた。今後も年に1回開催したい。

○副委員長：

出席できなかったが、正直、男女平等参画推進委員会とは違い、前進的に活動が行われているとイメージをしていたが、委員の発言のように、狭い範囲での活動ということで、活動内容が市民に伝わっていないのだろうと思った。パリテの場所や入口がわからないと言われ不便な所である。

○係長：

場所を説明するのも大変である。

○委員：

場所について、パリテは私の学校の学区域である。たしかに入口がわかり難いが、情報誌パリテの1号に当学校（ひばりが丘中学）のおやじ倶楽部が掲載され、全生徒に配布され、パリテを意識している。立ち上げて大分軌道に乗ってきたが、これから発展させるためのきっかけが必要で、そんな時期に差し掛かったのではないかと感じる。また世界と国に繋がっているという目標がある一方、マイナーな事業であるという感想があげられている。目標と評価に差がある。宣伝が足りないのではないかと。

○委員長：

ありがとうございます。「パリテの活性化」に繋げるため、パリテの運営内容だけではなく、組織のあり方も課題と感じる。

### 3 パリテ事業報告

○事務局：

「女性に対する暴力をなくす運動週間」（11月12日（土曜日）～25日（金曜日））事業として、実際に施設で育った方を講師としてお招きする“児童養護施設”という名の家 私たちの育った場所」（12日（土曜日））と、「こころの響かせるDV根絶パネル展」を開催予定である。また、関連事業として「パープルリボンプロジェクト講座」（10月4日（火曜日）、11日（火曜日）、18日（火曜日）全3回）を開催した。共通講座事業として、「タッピング・タッチ講座」（12月3日（土曜日））を開催する予定である。是非皆様のご参加をお願いする。

○委員：

パネル展を住吉会館ではなくて、市役所などでできないか。

○事務局：

出来ないことはないが、予算上2カ所でパネルを展示するのは厳しい。

### 4 「平成22年度男女平等参画推進計画各課実績評価」まとめに向けて

○委員長：

30分を全体の意見交換に使い、残りの30分を各領域別に別れて次の課題に向かっていただきたい。次の課題とは、昨年同様、全体がある程度まとまったところで、領域ごとに領域別評価の検討をお願いする。各領域評価を昨年と同じ形で最大で1ページくらいにまとめ、事務局へ11月末までに送付する。事務局は提出されたものをまとめ各委員へ送付する。「はじめに」と「これからの課題」については、委員長、副委員長でまとめ、事務局より各委員へ送付し、次回委員会で検討する。では、投げかけた課題等があればお願いする。

○委員長：

5ページ、2段目と33ページ、13段目の、主な取り組み「発達に応じた性教育の充実」について、5ページ「C評価」、33ページは「A評価」だが、「執行状況・事業評価」の文章自体が異なっている。施策の項目が違うために課の書き方も異なり、それによって事業評価も異なる。このようなケースもあった。

○委員：

行っている内容も担当課も同じであれば、矛盾していることになる。3ページは生殖そのものに関わる事に関する小、中への性教育の実施、性教育の中にリプロダクティブ・ヘルス／ライツという項目（施策内容）を掲げているかどうかの問題を問うている。むしろ33ページが「C評価」ではないか。表面上で言えば5ページが「A評価」ではないか。リプロダクティブ・ヘルス／ライツは難しい問題で、行っている学校はない。

○委員長：

この件については後半の領域別で検討する。他に何かあるか。

○委員：

「D評価」で確認したいが、基本的には「未実施のものまたは空欄のもの」となっているが、それ以外の内容が書いてある場合は、「D評価」にならないか。たとえば、9ページの主な取り組み「ショートステイ※事業の実施および病児保育・休日保育の検討」について「具体的な事業又は取り組み計画」「執行状況・事業評価」「次年度の課題」があって、実施をしていると思われるが、「D評価」となっているがいかがか。

○委員：

調整をしている段階なので、未実施と解釈した。

○委員：

13ページの主な取り組み「行政、社会福祉協議会、介護保険事業者、ケアマネジャー等の連携の強化」にもあるが、「具体的な事業又は取り組み計画」が「実施方向について検討」、「執行状況・事業評価」が「成年後見制度に関しての交換会を実施した」となっていて、「D評価」になっている。これについても読み取り方が難しい。

○委員：

30ページの主な取り組み「外国語での対応について検討」で、「執行状況・事業評価」に「外国語対応サポーターの活用」、「執行状況・事業評価」に「同左」、「次年度の課題」は「特になし」と書いてあるが、行っているかどうか解らない。これこそ「D評価」ではないか。

○委員：

他にもあるが、表記の仕方が読み取れないということで、「D評価」にしてよいか。

○委員：

前回委員会で、未実施と読み取れるものは「D評価」でよいということではなかったか。

○委員長：

29ページの主な取り組みが、「相談を周知するパンフレットの作成配布」だが、生活福祉課は「ホームページに掲載」。「執行状況・事業評価」も「ホームページに掲載」。「次年度の課題」も掲載だから特になし。「事業評価」のコメントでは、「更新などを行い周知の目的を果たしていただきたい。」実施していないわけでは無いので「C評価」にしたと思うが、内容はパンフレットの作成になる。

○委員：

パンフレットの作成・配布ということであれば、ホームページへ掲載では実施されたことにはならない。

○委員長：

委員会としてはパンフレットの作成・配布なので、ホームページの掲載ではなく、パンフレットについて記載がなければ、「D評価」になる。

○委員：

改善の余地は「B評価」、不十分は「C評価」、であるならば、パンフレットの作成・配布に対してホームページへの掲載というのは、合っていないということで不十分。したがって計画自体「C評価」になるのでは。

○委員長：

今の形で行くと、そのようなコメントを述べて、「C評価」で良いという判断だが。

○委員：

理解できるように記載していただけないと正しい評価ができない。委員会は書かれている内容で評価していくのは仕方ない。

○副委員長：

皆さんこれで承認したということによろしいか。

○委員長：

本日受け取った実績評価については、次回委員会にて承認としてよろしいか。

○各委員：

異議なし。

○委員長：

次回委員会で再度見直して、最後承認をいただく方向とする。領域ごとに調整する部分があると思うので、残り時間で領域ごとに別れ、修正する部分があれば事務局まで報告していただく。更に領域別評価の文案作りの検討もお願いします。

・領域別評価後

○委員長：

修正がある領域はあるか。

○委員：

33ページの13番「発達に応じた性教育の充実」については、取組計画が施策の内容に合致しないというコメントにして、「C評価」にした。同じ「C評価」だが、コメントの内容で差を付けた。

○委員長：

他にないか。なければ次回委員会で再度見直しをし、承認をいただきたい。

#### 5 その他

○委員長：

条例制定勉強会については、先ほど1月15日（日曜日）午後1時から住吉会館2階研修室で開催することと決定した。内藤和美さんについては紹介のプリントが有りますので、後ほどご覧いただきたい。

○委員長：

次回委員会は、平成23年12月14日田無庁舎1階102会議室で午後6時30分から。

以上、閉会とする。